

### 3 介護を工夫したら 夫が変わった

認知症の人を介護する家族の会があると聞き、夫の「食べてない」を相談した。そこで教えてもらったことを試してみた。「朝ごはんはまだか」と尋ねてきた夫に、「今作っています。できるまで、これを食べて待っていてくださいね」と言って、小さなみかんを一つ、手渡したのだ。食事の支度をするふりをして。みかんを食べる夫の表情は穏やかだった。なるほど、こうすれば、お互い、いらいらせずに済むんだ。

こうした対応は、いつでも、また誰にでも、うまくいくわけではありません。しかし、ご本人の気持ちを尊重し、説得するのではなく、納得してもらえるように接すれば、案外すんなりと受け入れられることも多いようです。いろいろな対応のしかたを知っておくと、介護する人もされる人も、気持ちがお楽になります。



認知症の症状に対する具体的な対応法を、p.20-29に紹介しています。また、家族の会については、p.38をご覧ください。